

平成31年1月23日

## 幹事長談話

東京都議会自由民主党幹事長

吉原 修

### 平成31年度予算編成に係る査定情報の事前漏洩について

本日、小池都知事が、平成31年度予算編成に係る査定段階の情報を、都内の特定団体に対して事前通知したことが判明しました。

平成31年度予算については、明日、都議会に対して説明があり、翌25日に公表され、その後、来月の第一回定例会、3月の予算特別委員会での審議を経て確定することになります。

小池知事は、こうした予算編成日程を承知の上で、昨年同様、特定の団体だけを都庁に呼び、都議会そして都民を置き去りにして東京都予算の査定段階の情報を事前漏洩したのです。

知事は昨年の予算特別委員会で、この事前漏洩を「予算編成のプロセスの一つ」と釈明していますが、都議会や都民より先に査定内容を特定団体に知らせることだけが目的であり、都政の私物化です。

2元代表制のルールを無視した、職権で知りえた情報を使った知事による姑息な政治パフォーマンスあり、知事が主張する「しがらみ政治の脱却と都政の見える化」とは真逆の行為です。

都予算の編成作業は、二元代表制の下、知事と都議会が正規の手続きに則り都民の前で公明正大に進めていくべきです。非公開で、こそこそと事前リークなどすべきではありません。都議会自民党は、このことを強く主張し、知事の猛省を促すものです。